## 令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査について(結果のポイント)

令和7年9月29日 教育課程 部会 国語ワーキンググループ 料

#### 調査の概要

#### 【目的】

小学校学習指導要領の次期改訂に資するため、今次改訂の改善事項を中心に、各教科等の目標や内容に照らした児童の学習の実現状況について調 査研究を行い、検討の基礎となる客観的データ等を得るとともに、教育課程の基準に係る課題の有無及びその内容等を検証・総括する。

#### 【時期、対象学年及び教科等】

- ○調査時期:令和5年2月6日(月)から令和5年3月3日(金)
- ○調査対象:公立小学校 1.170校(義務教育学校前期課程含む) ※全学校の約7.1%、無作為抽出

実施児童数(延べ) 120.378人

- 〇内容 : 各教科で、①今回の改訂の基本方針に関する事項、②各教科等の主な改善事項(今回の改訂で新設された事項、学年及び学校種を超 えて移行した事項)、③従来、課題とされている事項の視点に基づくペーパーテスト調査を実施するとともに、一部教科で実技調査 を実施。あわせて、児童、教師、学校長を対象とした質問調査を実施。
  - (教師、学校長については、オンライン形式にて実施。)
  - ・ペーパーテスト調査:第3~6学年 国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育(運動領域、保健領域)、外国語(英語)
  - ・質問調査(学校)(児童、教師):第2~6学年 生活、特別の教科道徳、総合的な学習の時間、特別活動、外国語活動
  - ・実技調査:第6学年 図画工作、家庭、体育(運動領域)、外国語(英語)

#### (主なポイント)

#### 各教科のペーパーテスト調査の結果から

- ○「知識・技能」について、事実的な「知識」は一定程度の定着が見られるものもある一方、「知識」の概念としての習得や、習得した「知識」 を日常生活に当てはめたり、現実の事象と関連づけて理解することには一部に課題があると考えられる。
- ○「思考力・判断力・表現力等の育成」の観点から、例えば児童が具体的な問いを見いだす点等については、定着が見られるものもあると考えら れる一方、目的に応じた課題解決、自分の考えや根拠を明確に説明するといった点については、課題があると考えられる。

#### 生活、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の質問調査の結果から

○質問調査では、学習状況や学校生活等について概ね肯定的な回答が多く見られるが、同様の趣旨の項目において、教師の認 識と児童の受け止めに差があるなど、課題が一部で見られる。

#### 教育課程全体に係る質問調査

- ○主体的・対話的で深い学びや、資質能力の3つの柱、見方・考え方などの学習指導要領が提唱する基本的な考え方については、現場 の教育課程や学習指導の改善等に良い効果を与えたとの回答が多く見られる。
- ○学習指導要領の趣旨実現を妨げる要素としては、多忙化や人員確保、研修時間の確保などの回答が多い。
- ○標準授業時数について、教育課程編成に係る学校の裁量を広げることについては、多くの学校が賛成。年間授業時数を確保した上で、 教科間の授業時数の調整を可能とするような取組を行ってみたいとする学校が多い。

# 令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査について(ペーパーテスト調査等)

## ペーパーテスト調査等の概要

- 調査実施校:小学校 1,170 校 実施児童数 120,378人 (延べ数)
  - ※1教科1問当たり、3,000人程度の調査結果を得ることができるよう、調査対象を無作為抽出した。
- データを見るにあたって
  - ○「1. 主な改訂のポイント」「2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」「3. 2の成果と 課題を踏まえた改善の方向性」「4. 調査問題例」の4構成と「4」に対応する問題を別紙(問題例)で添付。
  - ○「2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」中の赤字部分は「相当数の児童ができている」 もの、青字部分は「課題があると考えられる」もので、下線が付されているものは、「4. 調査問題例」及び別紙 において問題例(質問項目例)が示されている。
  - ※実技調査については、対象教科(図画工作、家庭、体育(運動領域)、外国語(英語)のペーパーテスト調査を実施する抽出校の中から調査を実施する学校を抽出。(1教科当たり350人程度:10校程度))

## 令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査の結果について(国語)

#### 1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- ○国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目標に改善・充実。
  - ・学習の基盤となる言語能力等を支える語彙、急速に情報化が進展する社会における情報 の扱い方等に関する〔知識及び技能〕の指導事項を改善・充実。
  - ・ただ活動するだけではなく、活動を通じてどのような資質・能力を育成するのかを示す ため、〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において学習過程を一層明確化し、特に 自分の考えを形成する学習過程を重視。

#### 2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- **語彙については、様子や行動等を表す語句**について相当数の児童ができている設問がある 一方で、思考に関わる語句について課題があると考えられる設問がある。
- ○情報の扱い方については、必要な語句などの書き留め方について相当数の児童ができている一方で、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方について課題があると考えられる。
- ○「考えの形成」については、「書くこと」の領域において、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があると考えられる。また、<u>「読むこと」の領域において、文学的な文章を読む際に自分の考えをもつこと</u>については相当数の児童ができている設問もある一方で、<u>説明的な文章を読む際に自分の考えをもつこと</u>については課題があると考えられる。

#### 3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- ○指導上の改善点
  - ・適切な言語活動を通して、生きて働く「知識及び技能」と未知の状況にも対応できる 「思考力、判断力、表現力等」を相互に関連させながら資質・能力を育成する指導の充 実を図る。
  - ・「考えの形成」については、文章を読んで理解したことに基づいて自分の知識や経験等と結び付けて考えをまとめる指導や、自分の考えを明確にして書き表し方を工夫する指導等の充実を図る。

#### 4. 調査問題例 (ペーパーテスト 小学校/国語)

# 「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方」の問題例 (別紙1参照)

○環境によい暮らし方について調べ、家の人たちを招いてスピーチで 提案する言語活動の中で、自分の考えが伝わるように資料活用の仕 方を工夫するため、情報を整理し図で表すことができるかを問う問 題を出題。 【通過率 59.0%】

#### 「**文学的な文章を読む際に自分の考えをもつこと」の問題例** (別紙 2 参照)

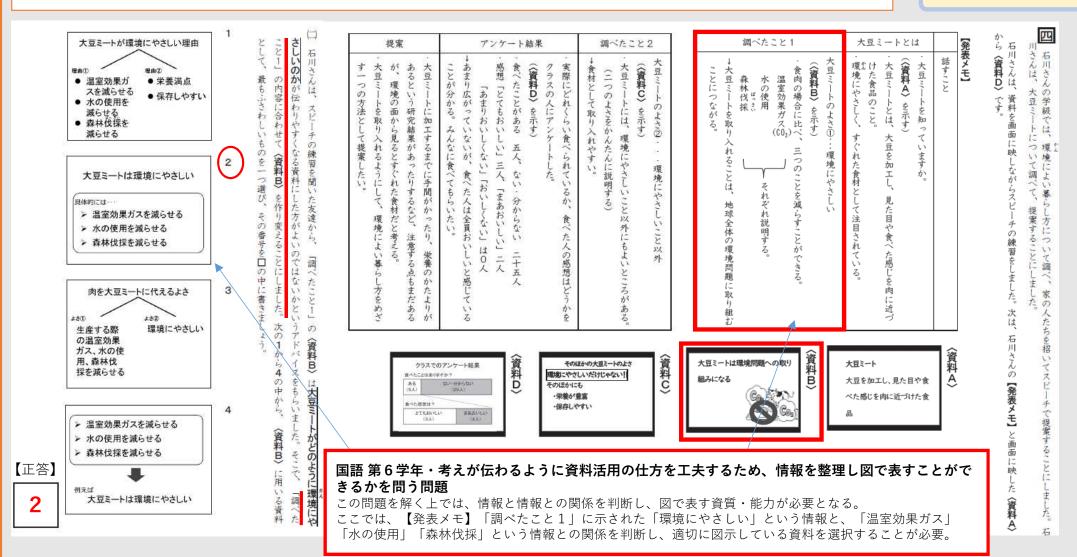
○物語を読み、その魅力をまとめるという言語活動の中で、文章を読んで理解したことに基づいて、物語全体の魅力について自分の考えをもつことができるかを問う問題を出題。 【通過率 80.5%】

#### 「説明的な文章を読む際に自分の考えをもつこと」の問題例 (別紙3参照)

○生き物について書かれた説明的な文章を読み、考えるという言語活動の中で、文章を読んで理解したことに基づいて、疑問に思ったことやもっと知りたいことについての自分の考えをもつことができるかを問う問題を出題。 【通過率 40.4%】

### 「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方」の問題例

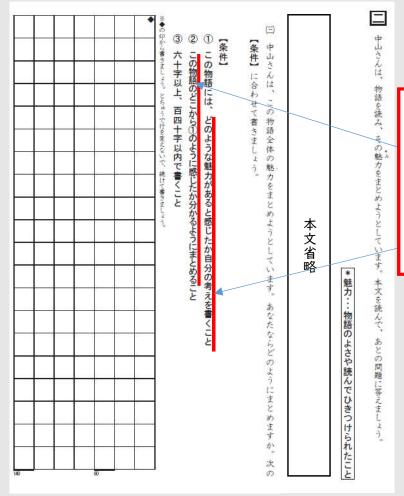
【通過率 59.0%】



## 「文学的な文章を読む際に自分の考えをもつこと」の問題例

がよいものに変化してものとして書かれていものとして書かれていれるがみ力だと思いれるがありだと思いれる。 い雨まま主 のすし人 のます。(120分子の中を歩くのが、洋品店の大の雨に対す か楽しみになるなどであわむらさき色の雨がゆううつでいするとらえ方が変わ どのいわ ドやっ

雨レなて



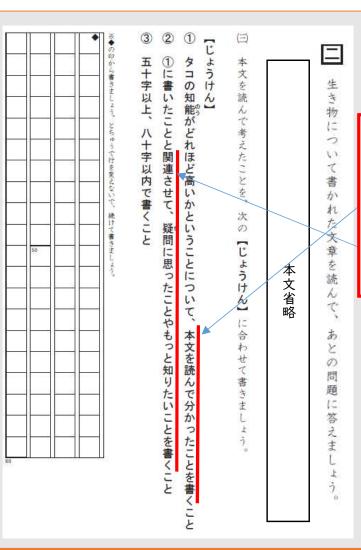
【通過率 80.5%】

#### 国語 第6学年・文章を読んで理解したことに基づいて、 自分の考えをもつことができるかを問う問題

- この問題を解く上では、以下のような資質・能力が必要となる。
- ①文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら理解したことについて、表現すること。
- ②文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを形成し、表現すること。
- ここでは、物語全体の魅力をまとめることが必要。

## 「説明的な文章を読む際に自分の考えをもつこと」の問題例

・タコがイン かりました。 てそっ -カとウミへご 見す 見てみたいと思いましゅがたがちがうのに、して身を守ることが分



【通過率 40.4%】

#### 国語 第4学年・文章を読んで理解したことに基づいて、 自分の考えをもつことができるかを問う問題

- この問題を解く上では、以下のような資質・能力が必要となる。
- ①文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら理解したことについて、表現すること。
- ②文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを形成し、表現すること。
- ここでは、疑問点や更に知りたい点などを見いだすことが必要。